

## 「靖国 YASUKUNI」の上映中止に至る経緯に関しまして

平素はお世話になっております。

「靖国 YASUKUNI」の上映に関しましては、2007 年 7 月に弊社担当者が試写会にて観覧後、弊社の企業理念であります「アジア映画を通じて相互理解を」に基づき上映に相応しい作品として同作品の配給会社であるナインエンタテインメント株式会社およびアルゴ・ピクチャーズ株式会社様に上映の申し入れを行い検討をいただきました結果、シネマート六本木、シネマート心齋橋での上映が正式に決定いたしました。

2008 年 1 月に入り他の劇場（新宿バルト 9 様、銀座シネパトス様、渋谷 Q-AXcinema 様）と共に配給会社様主催の宣伝会議が開催された折、宣伝方針等に関して協議、劇場側の共通意見として、思想的な取り上げ方をする宣伝ではなく一般映画と同様に映画としての価値を伝える宣伝展開を依頼し、了解を頂きました。

3 月に入り、3 月 12 日の国会議員限定の試写会が開催されマスコミの話題に取り上げられると共に、各劇場に上映に対する抗議の電話等が入る中、再度宣伝会議において劇場側の依頼事項として、マスコミ等の試写会だけでなく一般のお客様対象の試写会等を開催し映画そのもののお客様の評価を高める努力などによる「安全な上映環境の整備」を申し入れましたが、具体的なご回答をいただくことはできませんでした。その後、劇場に街宣車が抗議活動を行うなど上映中止の活動が活発化してまいりました中、弊社を除く他劇場様が番組編成上の理由等から相次いで上映中止を決定されました。

このような状況の中、弊社としてはあくまで上映に向け他の上映作品のお客様にご迷惑がかからないよう万全の状況を整えるべく配給会社様と誠意を持って検討を重ねてまいりました。

3 月 31 日に弊社と配給会社様で上映に関しての検討を行った席上、弊社としては上映に向けた安全な環境づくりという観点から再度一般試写会の開催による上映方法検討などの実施を申し入れましたが、最終的に配給会社様から弊社責任者宛に「試写会の開催は難しいので上映を中止にすることで了承願いたい」というお申し出がありました。

上映中止の決定に関し配給会社様によるマスコミ発表に至る経緯は上記の通りであります。弊社としては、この発表に至るまで弊社側から「上映中止」を配給会社様に申し入れを行った事実はなく、あくまで上映に向けた検討を重ねてまいりました。結果として配給会社様が中止を決定に至りましたことは誠に残念であり、私どもも映画業界の一員として自らの力不足の責任も感じております。

今後も配給会社様と共に弊社の劇場における通常の上映が安全にできる環境が可能であれば、「靖国 YASUKUNI」の公開を希望するものであります。